

# 国際平和拠点ひろしま構想推進ガイドライン

〔平成 24 年 10 月 19 日  
平和推進プロジェクト・チーム〕

広島県は、国内外の有識者の参加を得た委員会から、平成 23 年 10 月に「国際平和拠点ひろしま構想」の提言を受けた。この構想は、人類史上初の原子爆弾により破壊され、その廃墟から復興した広島に使命と役割を示したものである。

構想で提言された広島に役割

- ① 核兵器廃絶のロードマップへの支援、
- ② 核テロの脅威の削減、
- ③ 平和な国際社会構築のための人材育成、
- ④ 核軍縮と平和構築のための研究集積、
- ⑤ 持続可能な平和支援メカニズムの構築

広島県では、本年度、国際平和拠点ひろしま構想推進委員会を設置し、広島市や関係団体等と連携し、構想の具体化に取り組んでいる。このガイドラインは、構想の具体化の取組の方向性を示すものであり、取組の進展に伴い随時見直しを行う。

## ■ 広島に 2 つのシンボル性

### ★ 人類史上初の原子爆弾による破壊を経験した地としての「核兵器廃絶への信念」

【広島に強み】

- ・ 人類史上初の被爆体験とその実相を示すことによる「核兵器廃絶への信念」の共有

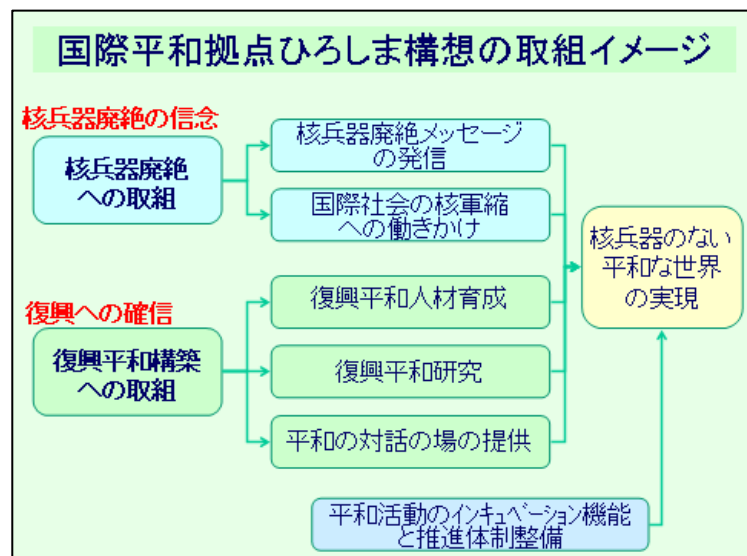
### ★ 原子爆弾による廃墟から復興した地としての「復興への確信と未来への希望」

【広島に強み】

- ・ 廃墟からの復興経験と今の広島に姿を示すことによる「復興への確信と未来への希望」の共有と、その復興プロセスや原爆被爆者医療を通じた知見の蓄積

## ■ 目指す姿と主な取組

核兵器のない平和な世界の実現に向けて、広島に 2 つのシンボル性を生かして、核兵器の廃絶と安定した平和な社会の構築に向けて包括的な取組を進める。



## ■ 行動の方向

### 1 核兵器廃絶への取組

広島から、被爆の実相と核兵器廃絶のメッセージを世界に発信するとともに、核軍縮・不拡散プロセスを進展させる働きかけを進める。

#### (1) 広島からの核兵器廃絶のメッセージの継続的発信

##### 【目指す姿】

各国のリーダーをはじめとする世界の多くの人々に核兵器廃絶への信念を共有してもらい、核兵器廃絶の国際世論を高め、核兵器廃絶を現実化する。(広島市を中心とした取組)

##### 【主な方向性】

###### ○ 被爆の実相の伝承と核兵器廃絶の訴え

核兵器が使用されれば、熱線、爆風、放射線により、実際にどのように甚大で悲惨な状況が引き起こされるのかという被爆の実相について、各国のリーダーに具体的な認識を深めてもらい核兵器に対する強い否定の意識形成を図る。また、一般の人々にも同様の意識を持ってもらうことで国際世論を喚起し核兵器廃絶への実際の行動を促進する。

《今後の取組方向》

###### ➤ 被爆の実相の伝承と核兵器廃絶の訴えの継続

#### (2) 世界の核軍縮・不拡散のプロセス進展のための働きかけ

##### 【目指す姿】

国際社会における核兵器廃絶に向けた具体的なプロセスを進展させる。

##### 【主な方向性】

###### ○ 国際社会の既存の核兵器廃絶への取組促進の働きかけ

核兵器廃絶に向けた国際社会の既存の取組について、NPT等の合意事項の確実な遵守などそのプロセスの進展を働きかけ、核兵器廃絶への実際の行動の進展を目指す。

《今後の取組方向》

###### ➤ 核軍縮等の合意事項の遵守状況の取りまとめ

NPT運用検討会議等の国際的合意事項の各国の遵守状況について、構想推進委員会での議論を踏まえて日本国際問題研究所に委託して取りまとめ、各国政府や国際世論の認識を高める。

###### ○ 多国間の新たな核軍縮・不拡散の取組の働きかけ

米ロだけでない多国間での政府レベル(トラックⅠ)での核軍縮会議の実現に向けて、まず、非政府レベル(トラックⅡ)での多国間の議論の場の実現を図ることにより、核軍縮・不拡散交渉の進展を目指す。

《今後の取組方向》

###### ➤ ひろしまラウンドテーブルの開催

非政府レベルにより、東アジアに焦点を絞っての多国間の核軍縮・不拡散の議論の場(トラックⅡ)の広島開催の準備を進める。

###### ○ 核軍縮・核セキュリティのための研究の促進

核軍縮・核セキュリティについての研究を進め、核軍縮や核兵器廃絶に向けての理論的裏付けを強化する。

《今後の取組方向》

###### ➤ 大学等の核軍縮・核セキュリティ研究の発表シンポジウムの開催など

## 2 平和構築のための取組

広島における、平和構築のための人材育成と研究集積を、復興を軸にさらに拡大するとともに、平和のための対話の場づくりを進める。

### (1) 復興・平和構築のための人材育成

#### 【目指す姿】

広島の被爆・復興経験を生かしての、平和構築の専門家や、復興マインドを持った社会開発各分野の専門家の人材育成を行うことにより、紛争後の地域における安定的な社会の構築に貢献し、テロリズムや核兵器拡散の抑止につなげる。また、広島の前爆被爆者医療の知識や経験を生かした放射線災害医療等の専門家の人材育成等を進め、核テロや事故等の不測の事態における放射線被害対応に貢献する。

#### 【主な方向性】

##### ○ 平和構築のための人材育成

広島が提供できる「復興への確信と未来への希望」を生かして、平和構築の専門家や、復興マインドを持った社会開発各分野（教育、保健医療、都市計画など）の専門家など、平和で安定的な社会を実現するために必要な多様なスキルを有した人材の育成を目指した取組を進める。

#### 《今後の取組方向》

##### ➤ 新たな復興・平和構築人材育成プログラム等の開拓

国連機関ユニタールやJICA、国内外の大学や関係機関等と連携して、復興・平和構築のための人材育成の新たなプログラム等の開拓を進める。

##### ○ 放射線災害医療等の人材育成

原爆被爆者医療等の知見の集積を活かして、世界各地で放射線災害医療に従事する人材の育成を進める。

#### 《今後の取組方向》

##### ➤ 放射線災害医療等の人材育成の拡大

HICARE（放射線被曝者医療国際協力推進協議会）や大学等と連携し、原爆被爆者医療等を通じて広島に蓄積された知見を生かし、放射線災害医療等の人材育成の拡大を図る。

### (2) 復興・平和構築のための研究集積の促進

#### 【目指す姿】

広島の復興プロセスの研究など、復興・平和構築関連の研究の集積を進め、世界の復興・平和構築関連研究の進展に貢献する。

#### 【主な方向性】

##### ○ 復興・平和構築関連研究集積

広島の復興プロセス研究を社会の各分野毎に進めるとともに、幅広い平和構築関連の研究集積を目指す。

#### 《今後の取組方向》

##### ➤ 広島の社会分野別復興プロセス研究

広島の復興プロセスを社会の各分野毎にまとめ、教材とすることにより、人材育成に生かす。

##### ➤ 復興・平和構築研究集積の促進

広島にある平和関連の研究教育機関のネットワーク化を進める。  
また、研究集積のために必要な対策（研究拠点の提供、研究支援体制の整備等）を検討し、多くの研究者に広島に来てもらうための取組を進める。

### (3) 平和の対話の場の提供

#### 【目指す姿】

広島で平和のための対話の場の提供に取り組み、核兵器のない平和な世界実現への取組や、紛争解決に向けた取組の進展に貢献する。

#### 【主な方向性】

##### ○ 平和の対話の場の提供

広島で平和に関する国際会議を開催することや、紛争当事者等の対話の場を持つことの意義と有効性をアピールし、平和に関する対話の場所としての広島の認知を高め、誘致を進める。

##### 《今後の取組方向》

##### ➤ 平和の国際会議の開催拡大

平和に関する国際会議の誘致をさらに進める。また、国の意思決定者、政策決定者による国際会議のほか、経済人による平和の国際会議の可能性も追求していく。

##### ➤ 紛争当事国・者による対話のための場の提供

広島を対話の場として活用することを働きかける。

## ☆ 持続可能な平和支援メカニズムの構築

平和の推進のための新たな活動を効果的に生み出すために、広島のシンボル性を生かして、世界の人材、知識・情報、資金などの資源を集積し平和活動のインキュベーション機能（平和を生み育てる機能）など、持続可能な平和支援メカニズムの整備を進める。

#### 【目指す姿】

世界から人材、知識・情報、資金などの資源を集積して、平和活動の継続的な支援メカニズムを構築し、世界の平和活動の進展に貢献する。

#### 【主な方向性】

##### ○ インキュベーション機能の整備

世界から人材、知識・情報、資金などの資源を集積し、平和活動支援のためのニーズとシーズのマッチングにより平和活動を生み育て応援するインキュベーション機能の整備を推進する。

##### 《今後の取組方向》

##### ➤ 平和活動支援インキュベーション機能の整備の取組

インキュベーション機能の整備・運営主体を検討する。

##### ➤ ピースコンサートの開催

世界に平和を訴えるピースコンサートを平成 25 年に広島で開催する。

##### ○ 安定的な推進体制の整備

上記インキュベーション機能に加えて、平和関連研究の支援や国際会議の誘致や支援などを行う推進体制を整備する。

##### 《今後の取組方向》

##### ➤ 推進体制の整備の取組

国際平和拠点ひろしま構想を継続的に推進するための体制を検討する。